

日本骨髄バンクの現状（平成 20 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,409	4,281	323,440	409,500
患者登録者数	207	232	2,386	26,205
骨髄移植例数	102	114	-	9,890

20 歳未満のドナー登録者数

10 月 321 人

合計 8,630 人（17 年 3 月～）

51 歳以上のドナー登録者数

10 月新規 118 人

延長 179 人

合計 12,482 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 10 月の移植件数が過去最高に

10 月の移植件数は 114 件（国内ドナー 国内患者 113 件、国内ドナー 海外患者 1 件）で、月間では過去最高の件数となりました。2 ヶ月続けて 100 件を超える件数となります。今年度（4 月～10 月）の累計移植件数は 653 件（国内ドナー 国内患者 645 件、海外ドナー 国内患者 3 件、国内ドナー 海外患者 5 件）ですが、現在のペースが続けば、年間で 1,100 件を超えることとなります。先月号でもお伝えしたように、コーディネーターが対応できる件数は限界に近づいていますが、各関係者のご協力をいただきながら適切な対応をとり、1 件でも多くの移植を実現する努力を続けてまいります。

また、これまでの積み重ねである、骨髄バンク設立以来の累計移植件数も 10 月末で 9,890 件となりました（国内ドナー 国内患者 9,559 件、海外ドナー 国内患者 154 件、国内ドナー 海外患者 177 件）。12 月の上旬には累計 10,000 件を迎える予定です。

なお、今年度（4 月～10 月）の新規ドナー登録者は 22,150 人で、昨年度（22,101 人、4 月～10 月）とほぼ同じ人数で推移しています。

2 今年度（4 月～9 月）の寄付金は減少傾向

寄付金収入は財団の運営にとって不可欠なものとなっており、今年度も集計済み期間（4 月～9 月）で約 5,780 万円（速報値）の寄付金をいただいております。一方、昨年同時期の寄付金額は約 6,900 万円でした。厳しい経済状況の影響と思われるが、個人の方の寄付金額の減少が顕著となっています。しかしながら件数の減少は 5%弱にとどまっており、厳しい経済状況でもなお多くの方にご協力をいただいているといえます。財団としては、より多方面からご協力をいただけるよう工夫をするとともに、貴重な寄付金について、より効率的な使い方を心がけて日々の運営を行ってまいります。今後ともご協力をお願いするとともに、この場をお借りして、改めて皆様にお礼を申し上げます。

3 梅田正造さん千葉県功労者表彰受賞

11 月 3 日（文化の日）、千葉骨髄バンク推進連絡会会長の梅田正造さんが、千葉県功労者表彰（健康福祉功労）を受けられました。これは「各方面でそれぞれ顕著な功績を挙げ、千葉県の発展に多大な貢献をされた方々」に対して贈られるもので、千葉県での長年にわたる骨髄バンクの普及啓発活動、登録活動が評価されたものです。心より敬意を表すると共にお慶び申し上げます。

3 骨髄バンク推進月間について

10月は骨髄バンク推進月間でした。今年も、150回を超えるドナー登録会や様々なイベントが全国各地で行われ、多くの関係者のご協力により、4,281人（速報値）の方にご登録いただきました。これは昨年に比べ190人少ない数字ですが、昨年は「東京モーターショー」で200人のドナー登録（開催期間のうち10月中の登録）があったことを考慮すると、全国各地の皆様の努力が集まった結果だといえます。

4 語りべ事業、支援イベント&TV

語りべ事業

今年の「24時間テレビ（日本テレビ）」でも紹介された、斉木兄弟のお母さんである斉木桂子さんが「語りべ事業」の一環として、志木市立志木中学校（埼玉県）の「ふれあい講演会」（11月1日）で講師をされました。斉木さんが語る闘病の様子は、当日会場に集まった約800人の生徒さんや先生、保護者の方たちに深い印象を残しました。また、この事業については県内の校長会議でも紹介されました。

チャリティーイベント

- ・「2008年 中溝裕子 骨髄バンクチャリティーコンペ」：12月3日（水）ニューヴェルゴルフ倶楽部
財団評議員で移植経験者でもある中溝裕子プロの呼びかけにより、昨年に引き続き開催されます。
- ・「ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」：12月8日（月）戸塚カントリー倶楽部
株式会社ぐるなびの社会貢献活動の一環として開催され、今年で4回目になります。

TV Program

- ・「武田鉄矢の週刊鉄学」：11月23日（日）11：00～12：00 朝日ニュースター
全国骨髄バンク推進連絡協議会会長の大谷貴子さんが出演され、骨髄バンクの必要性を訴えます。

5 「骨髄バンクニュース」第33号

12月3日（水）「骨髄バンクニュース第33号」を発行します。表紙では、今回で3回目となる「研音グループ2008年度チャリティーオークション」の中心として活動された、唐沢寿明さんのコメントを紹介しています。特集では、「みんなの力で築いた生きる喜び～1万人のありがとう～」と題して、本年12月はじめにも到達が予想される累計10,000例の骨髄移植に関わってきた、患者さん、ドナーさん、医師の方たちの声をお伝えします。「コーディネーターの仕事」には、今年4月から活動を開始した新人コーディネーターさんに登場してもらいます。

6 10月の区分別ドナー登録者数

10月の区分別ドナー登録者数は、献血ルーム / 1,309人、献血併行型集団登録会 / 2,327人、集団登録会 / 455人、その他 / 190人でした。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
医療委員会	公開・一部非公開	11月29日（土）14:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開・一部非公開	12月11日（木）17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室